



# 農林29号 Ni29 (旧系統名RK97-7020)

【栽培適地】 沖縄県南大東島地域

農林29号(Ni29)は、2011年(平成23年)に沖縄県南大東島地域向けの奨励品種に認定されました。株出し多収に加え早期高糖性で、作業性にも優れた品種です。



茎の特徴(春植え)

左:F161、中央:Ni29、右:Ni9



芽子(春植え)

左:F161、中央:Ni29、右:Ni9



立毛状態(春植え)

左:F161、中央:Ni29、右:Ni9

来歴組合せ ♀RK87-81 × ♂F172

### 重要特性

Ni29は、沖縄県農業研究センター作物班が育成した品種です。1994年(平成6年)に沖縄県においてRK87-81を母本、F172を父本に用いて人工交配種子を得、1996年(平成8年)に宮古島支所で実生の養成を開始しました。2000年(平成12年)からは県内各地での試験に供試し、特に株出しでの多収性と早期高糖性に注目して選抜を重ねて育成しました。

- ・生育初期の伸長性はF161より優れ、特に南大東島における株出しでF161より多収です。
- ・登熟が早く早期収穫に適しており、可製糖率はF161に比べ明らかに高いです。
- ・茎の直立性や耐倒伏性に優れ、脱葉が容易です。

### ■南大東島における夏植え型早期収穫での特性

作型	品種	原料茎数 (本/a)	一茎重 (g)	原料茎重 (kg/a)	ブリックス (%)	繊維分 (%)	甘蔗糖度 (%)	可製糖量 (kg/a)
夏植え	Ni29	997[119]	1034[111]	1020[127]	18.1[101]	10.72[95]	13.0[107]	118[138]
	F161	837	929	803	17.6	11.7	12.1	86
夏植え 株出し	Ni29	852[97]	1108[104]	946[126]	18.6[108]	11.3[92]	12.5[116]	102[150]
	F161	878	1062	751	17.1	12.3	10.8	68

※□内はF161を100とした場合の比率

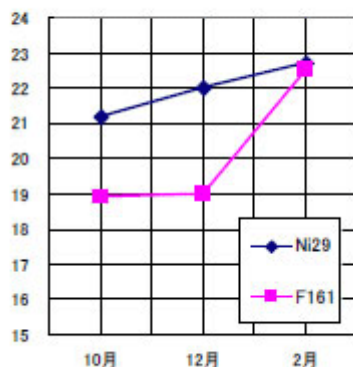
### ■病害虫抵抗性

	黒穂病	さび病	葉焼病	メイチュウ抵抗性
Ni29	中	中	中	中
F161	強	強	中	中
Ni9	弱	やや弱	中	中
NC0310	極弱	弱	中	中

### ■その他、主要な生態的特性

	発芽性	分けつ性	萌芽性	初期伸長性	出穂性	風折抵抗性	耐倒伏性	脱葉性
Ni29	中	中	中	やや良	少	やや強	やや強	易
F161	やや良	中	やや良	中	極少	やや強	弱	易
Ni9	中	強	良	良	多	強	やや強	難
NC0310	中	中	中	中	多	強	中	難

■Ni29のブリックスの上昇  
(南大東島における株出し)



栽培上の注意

- 春植えでは収量が低い傾向にあるので、植え溝あたりの植え付け苗数を3割程度増やして密植しましょう。
- 台風時の折損が多いことがあるので、強風害を受けにくい圃場に植え、植え付けを早めるなどの注意が必要です。



Ni29の形態的特性

F161やNi9に比べ立葉で、葉長はF161より長く、Ni9よりも短くなります。茎長はF161と同程度でNCo310より長く、茎径はF161やNi9よりも太くなります。

■葉身・葉鞘関連形質

	草型	葉身長	葉幅	葉色	花青素	葉鞘長	毛群	ろう物質
Ni29	直立	やや長	中	濃	無	長	微	中
F161	立	中	広	濃	無	やや短	無	中
Ni9	中	長	中	中	無	やや長	無	中
NCo310	中	中	中	中	無	中	無	中

■茎関連形質

	節間の形質	茎色		茎長	茎径	亀裂	ろう物質	芽子の形態	芽翼	突出度	芽溝
		基本色	複合色								
Ni29	円筒	黄緑	淡紫	やや長	やや太	極少	多	卵円形	やや狭	やや凸	淺
F161	円筒	黄緑	淡紫	やや長	中	極少	多	広翼卵円形	やや広	やや凸	無
Ni9	円筒	黄緑	褐	長	細	やや少	多	円形	やや広	やや凸	無
NCo310	円筒	黄緑	褐	中	細	少	多	円形	やや広	やや凸	無



- 葉鞘が長く、Ni9やF161とは異なり毛群がみられます。
- 芽子はNi9やF161と異なり卵円形でやや小さく、芽子の背面には浅い芽溝があります。